

rhythmdesign

With Others | ウィズ・アザーズ

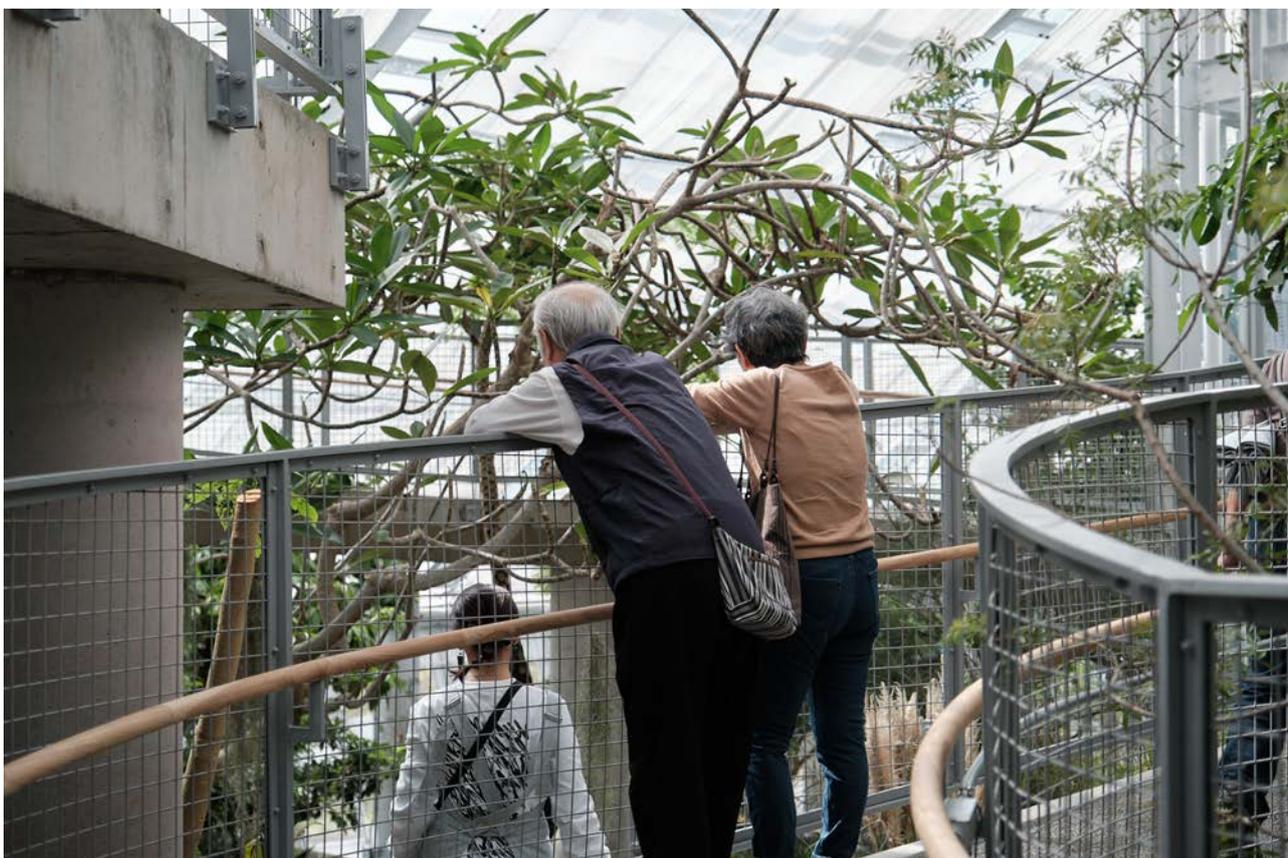
リズムデザインの20年

[東京展] 2024年8月1日(木)～8月11日(日)

会場 | BOOTLEG Gallery (東京都新宿区)

[福岡展] 2024年10月31日(木)～11月10日(日)

会場 | 太宰府天満宮 文書館 (福岡県太宰府市)



みとろの丘 | 2024 | 兵庫県加古川市 | グラスハウスオープン初日の朝の光景 ©rhythmdesign

福岡を拠点に、国内外の都市や建築に関わる、デザインスタジオ リズムデザイン (代表 井手健一郎) は、2024年、展覧会「With Others | ウィズ・アザーズ」を、BOOTLEG Gallery (東京・神楽坂) と太宰府天満宮文書館 (福岡・太宰府) の2つの会場で開催します。

2004年に創業して以来、リズムデザインの活動は、私邸から公共建築、伝統的建造物のリノベーション、そして10年間継続したデザインイベントの企画運営まで多岐にわたります。

建築を取り巻く状況と対話し、生み出す状況をあぶり出していくというプロセスが特徴であるリズムデザインが考えるデザインは、寛容な眼差しを持った働きです。それは自分も含めた他者から出発し他者を目的地とする、姿勢でありプロセスでもあります。その他者とは発注者や利用者であり、すべての生活者であり、歴史的文脈であり、地域文化、風習、地形、場の痕跡でもあります。

本展覧会は「With Others」と題し、リズムデザインの20年を総覧します。数百点に及ぶ展示物は、リズムデザインが製作したスケッチや模型、他者との間で交わされた対話や体験の断片です。それらを相互に関わり合う27のデザイン文脈で編集し、会場に構成します。それぞれの価値観や方法論を共有し、生きる術や知恵を交換するトークイベントも実施します。詳細は本リリース5P目以降をご確認ください。

また、東京展までの製作過程や、会場でのトークをまとめた書籍を、福岡展の開催にあわせて出版します。この展覧会に鑑賞者としてだけでなく、対話者として訪れていただければ幸いです。

開催概要

展覧会名（日） | ウィズ・アザーズ

展覧会名（英） | With Others

[東京展]

会期 | 2024年8月1日（木）～ 8月11日（日）

会場 | BOOTLEG Gallery [東京都新宿区改代町40_1F]

開館時間 | 11:00~18:00（休館日なし） 入場無料

[福岡展]

会期 | 2024年10月31日（木）～ 11月10日（日）

会場 | 太宰府天満宮 文書館 [福岡県太宰府市宰府4丁目7-1]

開館時間 | 10:00~17:00（休館日なし） 入場無料

企画 | rhythmdesign Ltd.（リズムデザイン）

編集・対話 | FANTASIA（ファンタジア）

ブックデザイン・出版 | BOOTLEG Ltd.（ブートレグ）

協力 | E&Y CO., LTD.（イー・アンド・ワイ）

INSTAGRAM | https://www.instagram.com/rhythmdesign_ltd

リズムデザインについて

井手健一郎（1978年福岡生まれ）を中心とした、都市や建築に関わるデザインスタジオです。2004年の創業と同時に始めたデザインイベント『DESIGNING? | デザイニング展』（2005–2014年の10年間、毎春福岡で開催 | 馬場雅人・林洋介等と共同主宰）では、ジャンル、世代、ジェンダー、プロ、アマチュア問わず、あらゆる境界を超えてデザインについて議論。地元福岡の設計チームとして関わった福岡市の水上公園『シップスガーデン』

（2016 | 松岡恭子との共同設計）を契機として、福岡県の大濠公園『大濠テラス 八女茶と日本庭園と。』

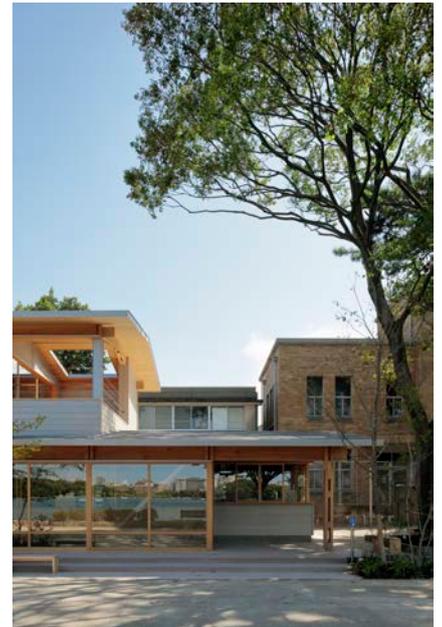
（2020）などの公民連携のプロジェクトや、熊本県山鹿市の菊鹿ワイナリー『アイラ・リッジ』（2018）や兵庫県加古川市の『みとろの丘』（2024）の再整備など、公共の場づくりの設計にも積極的に取り組んできました。近年では、ドイツ・フランクフルトでの仮設構造物『Furniture House』（2019）のデザインや、パリ15区のレストラン『CHAKAISEKI AKIYOSHI』（2023 | 松田和也との共同設計）のインテリアデザインなど、活動のフィールドは世界に広がっています。



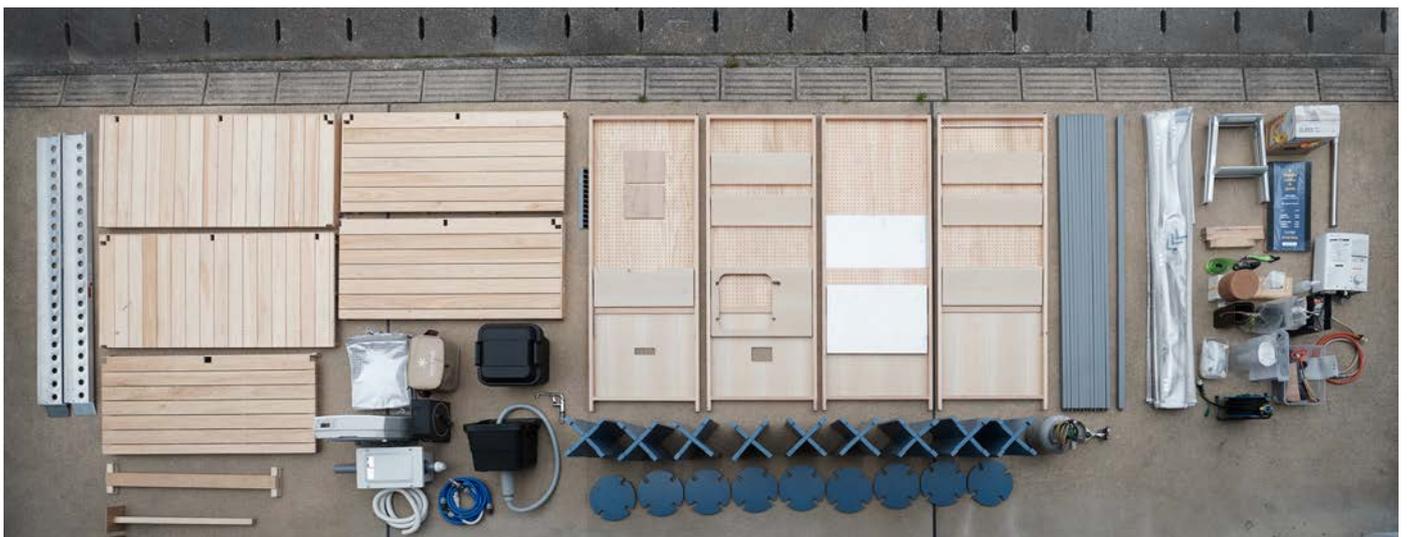
広報用図版 [プロジェクト]



デザイン展2013 | 2013 | 福岡市
 学生とのD.I.Y.ワークショップで製作した仮設のイベント会場
 ©Hiromasa Otsuka



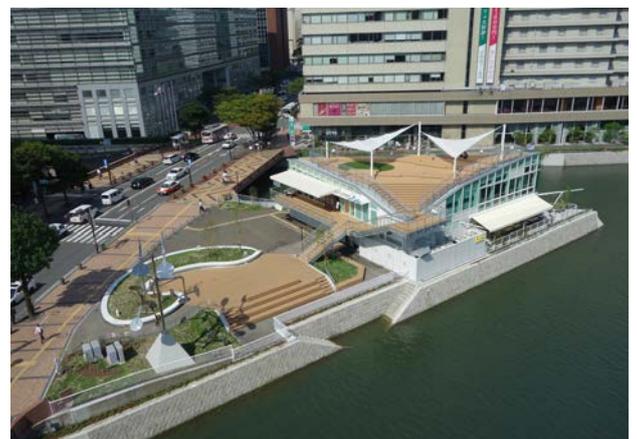
大濠テラス | 2020 | 福岡市
 オリジナルのCLT材と木柱を用いてD.I.Y.で構造
 フレームを建築した休養施設
 ©Koichi Torimura



megane coffee & spirits | 2019 | 福岡市
 上下昇降する屋根構造によって折り畳み可能な屋台建築
 ©rhythmdesign



菊鹿ワイナリー アイラリッジ | 2018 | 山鹿市
 この場所から見える風景を繋ぎ合わせる屋根を持つ公共の集客施設
 ©Koichi Torimura

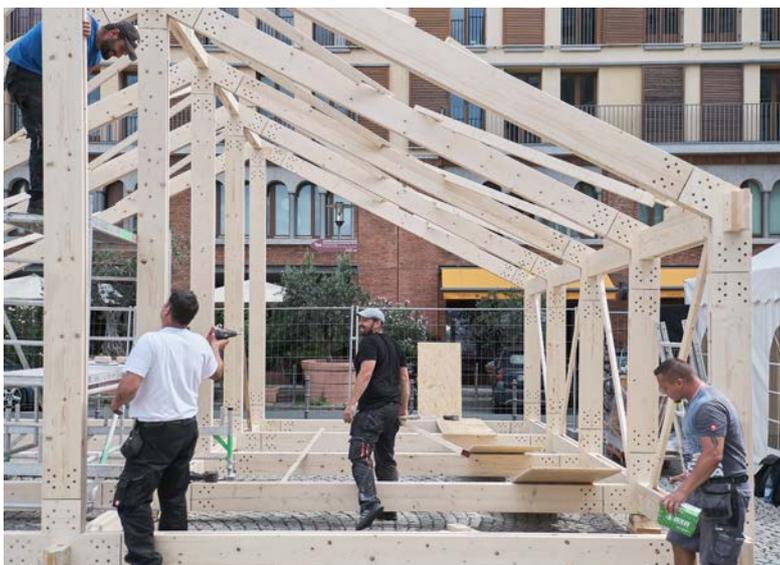


水上公園シブスガーデン | 2016 | 福岡市
 屋上を公園の延長として設計した水際の休養施設

広報用図版 [プロジェクト]



みとろの丘 | 2024 | 加古川市
植物温室だったガラスハウスを屋内公園へと改修したプロジェクト
©FANTASIA



FURNITURE HOUSE | 2019 | Frankfurt am Main
フランクフルトに建築した組み立て分解可能な仮設構造物
©rhythmdesign



NISHIKIMACHI | 2023 | 太宰府市
コーポラティブ方式で建築した木造平屋の商業建築
©Koichi Torimura

Press Contact

HOW INC. MAIL. pressrelease@how-pr.co.jp

TEL. 03-5414-6405

FUTURE With Others

他者ととともに築く未来

福岡を拠点に、国内外の都市や建築に関わる、設計スタジオ／リズムデザインによる展覧会「With Others | ウィズ・アザーズ」に関連して、連続トークイベントを開催します。

井手健一郎が多岐に渡るゲストを迎え、他者ととともに未来を描く可能性について探っていきます。

#001

DATE | 8/2 Fri 19:00 - 21:00

THEME | 当事者はだれだ (設計者は誰? / 何のための設計?)

GUEST | 中村 圭佑 [DAIKEI MILLS] × 松澤 剛 [E&Y]



#002

DATE | 8/3 Sat 19:00 - 21:00

THEME | 街の人が街を語る (それはどのように可能だろうか?)

GUEST | 小野 裕之 [散歩社] × 田中 元子 [グランドレベル]



#003

DATE | 8/4 Sun 19:00 - 21:00

THEME | ウィズ・アザーズ (その未来、可能性)

GUEST | 毛利慶吾 + 毛利マユコ [FANTASIA]



#004

DATE | 8/6 Tue 19:00 - 21:00

THEME | 生きた言葉 (瑞々しい記録 / 編集)

GUEST | 尾原 史和 [BOOTLEG] × 八木 幣二郎



#005

DATE | 8/7 Wed 19:00 - 21:00

THEME | 未来へ開きなおす (縮退する社会 / どう再編集する?)

GUEST | 坂口 修一郎 [B.A.G.N.] × 山田 遊 [method]



TALK_EVENT

With Others

リズムデザイン 展覧会「ウィズ・アザーズ」東京展
会 期 | 2024年8月1日 (木) ~8月11日 (日) までの11日間
会 場 | BOOTLEG gallery [東京都新宿区改代町40_1F]

イベント詳細



2024/08/02/FRI
19:00-21:00

THEME 01

当事者はだれだ

(設計者は誰?/何のための設計?)

何のため、誰のために設計するのだろうか。
設計の当事者性についてトークします。



TALK_EVENT

中村 圭佑

Keisuke Nakamura

[設計者]

1983年生まれ。静岡県浜松市出身。2011年に設計事務所を設立。商業空間や公共施設など様々なデザインプロジェクトに取り組みながら、一貫して人と空間の在り方について考え続けている。2019年には、社会の遊休スペースを時限的に占有し一般へ解放する運動SKWATを開始。2021年より、多摩美術大学環境デザイン学科の非常勤講師を務める。

DAIKEI MILLS

松澤 剛

Tsuyoshi Matsuzawa

[デザインエディター]

株式会社E&Y代表取締役。ファニチャーやプロダクトを軸とした国内外のデザイナーの作品をプロデュースし、現コレクションは50点以上になる。2006年にZANOTTAとのコラボレーティブエディションをミラノで発表、2015年には新たなコレクションライン「edition HORIZONTAL」を発表。作品の一部は、世界の美術館や博物館に收藏されている。また、国内外の建築家やインテリアデザイナーとのプロジェクトや展覧会の企画や編集、イベントのディレクターも務める。大阪芸術大学短期大学部教授。グッドデザイン賞審査員。

E&Y

井手 健一郎

Kenichiro Ide

[建築家]

1978年福岡市生まれ。2000年春に大学卒業後、渡欧。14カ国97都市を巡る。帰国後、2004年に自身の設計スタジオ「リズムデザイン」を設立(2016年に改組し法人化)。2005年から10年間、福岡市を舞台としたデザインイベント「デザイン展」を共同主宰。自分の手でつくる仮設構造物から公共的な建築まで、様々な設計デザインを行う。あるものを活かして、ないものを最小限でつくる姿勢は、常に一貫している。

rhythmdesign

2024/08/03/SAT

19:00-21:00

THEME 02

街の人が街を語る

(それはどのように可能だろうか?)

どのように街に関わり、語ることができるだろうか。
それぞれの街への関わりについてトークします。



小野 裕之

Hiroyuki Ono

[編集者・プロデューサー・起業家]

1984年岡山県生まれ。中央大学総合政策学部卒。ベンチャー企業を経て2012年、ソーシャルデザインをテーマにしたウェブマガジン「greenz.jp」を運営するNPO法人グリーンズを共同創業。20年春には、マスターリース運営会社として株式会社散歩社を創業し、現代版商店街「BONUS TRACK」を下北線路街にて開業。同施設でグッドデザイン賞ベスト100(21年)。目下、世田谷区にある旧池尻中学校(旧世田谷ものづくり学校)を創業支援型複合施設にリニューアルすべく奔走中。

散歩社



田中 元子

Motoko Tanaka

[建築コミュニケーター・ライター]

建築コミュニケーターとして建築関係のメディアづくりに従事後、2016年「1階づくりはまちづくり」をモットーとする株式会社グランドレベルを設立、2018年私設公民館として「喫茶ランドリー」を開業、同年グッドデザイン特別賞グッドフォーカス賞(地域社会デザイン)。設計コンサルティングやプロデュースなどを全国で手がける。主な著書に「マイパブリックとグランドレベル」「1階革命」(晶文社)ほか。

グランドレベル



井手 健一郎

Kenichiro Ide

[建築家]

1978年福岡市生まれ。2000年春に大学卒業後、渡欧。14カ国97都市を巡る。帰国後、2004年に自身の設計スタジオ「リズムデザイン」を設立(2016年に改組し法人化)。2005年から10年間、福岡市を舞台としたデザインイベント「デザイン展」を共同主宰。自分の手で作る仮設構造物から公共的な建築まで、様々な設計デザインを行う。あるものを活かして、ないものを最小限でつくる姿勢は、常に一貫している。

rhythmdesign

※ 先着順、定員30名 (立ち見になる可能性がございますことご了承ください)

2024/08/04/SUN

19:00-21:00

THEME 03

ウィズ・アザーズ

(その未来、可能性)

寛容な眼差しを持った働きとしてのデザイン。
その可能性について探ります。



TALK_EVENT

毛利 慶吾

Keigo Mouri

[コンサルタント・編集者]

1979年福岡県生まれ。デザイン雑誌の編集者や広告プランナーを経て、2020年に株式会社ファンタジアを設立。「事業の属人性」をテーマに、事業開発や変革、ブランディングなどのプロジェクトに伴走している。2021年からは福岡市で事業創造の拠点「ファンタジア」の運営を開始。事業家を中心に、芸術家やデザイナー、学生や子どもなどあらゆる人が経験を交換し、プロジェクトを創造することを目的としている。

FANTASIA

毛利 マユコ

Mayuko Mouri

[オーガナイザー]

1990年生まれ。祖父の代から事業を営む一家に育つ。大学ではコンゴに小学校を建設、運営する教育プロジェクトに参画。2014年から広告代理店でプランナー。2020年に株式会社ファンタジアを共同設立。拠点「ファンタジア」の関わりと創造性をマネジメントしている。家業の悩みに寄り添うファミリービジネスアドバイザー資格を保有している。2024年から「GESTURES」プロジェクトで海外インタビューを担当。

FANTASIA

井手 健一郎

Kenichiro Ide

[建築家]

1978年福岡市生まれ。2000年春に大学卒業後、渡欧。14カ国97都市を巡る。帰国後、2004年に自身の設計スタジオ「リズムデザイン」を設立（2016年に改組し法人化）。2005年から10年間、福岡市を舞台としたデザインイベント「デザイン展」を共同主宰。自分の手で作る仮設構造物から公共的な建築まで、様々な設計デザインを行う。あるものを活かして、ないものを最小限でつくる姿勢は、常に一貫している。

rhythmdesign

2024/08/06/TUE

19:00-21:00

THEME 04

生きた言葉

(瑞々しい記録／編集)

どのようにして瑞々しさを記録・編集できるだろうか。
生きたデザインの可能性についてトークします。



TALK_EVENT

尾原 史和

Fumikazu Ohara

[アートディレクター]

1975年高知生まれ。株式会社ブートレグ代表。雑誌や書籍・図録やカタログなどを中心として、店舗や展覧会のアートディレクションなど多岐にわたり活動。マルチプル・レーベルとして写真集や画集などの出版とギャラリーも運営している。著書に『逆行』（ミシマ社）、『デザインの手がかり』（誠文堂新光社）がある。

八木 幣二郎

Heijiro Yagi

[アートディレクター]

1999年、東京都生まれ。グラフィックデザインを軸にデザインが本来持っているはずのグラフィカルな要素を未来から発掘している。ポスター、ビジュアルなどのグラフィックデザインをはじめ、CDやブックデザインなども手がけている。主な展覧会に、個展「誤植」（2022年／The 5th Floor〔東京都・根津〕）、「Dynamesh」（2022年／T-House New Balance〔東京都・水天宮前〕）、グループ展「power／point」（2022年／アキバタマビ21〔東京都・末広町〕）がある。

井手 健一郎

Kenichiro Ide

[建築家]

1978年福岡市生まれ。2000年春に大学卒業後、渡欧。14カ国97都市を巡る。帰国後、2004年に自身の設計スタジオ「リズムデザイン」を設立（2016年に改組し法人化）。2005年から10年間、福岡市を舞台としたデザインイベント「デザイン展」を共同主宰。自分の手でつくる仮設構造物から公共的な建築まで、様々な設計デザインを行う。あるものを活かして、ないものを最小限でつくる姿勢は、常に一貫している。

BOOTLEG

rhythmdesign

※ 先着順、定員30名（立ち見になる可能性がございますことご了承ください）

THEME 05

未来へ開きなおす

(縮退する社会／どう再編集する?)

地域を新たな未来に対して開き直すことができるだろうか。
状況を再編集する可能性についてトークします。



坂口 修一郎

Shuichiro Sakaguchi

[ミュージシャン・プロデューサー]

1971年鹿児島生まれ。無国籍楽団ダブルフェイスのオリジナルメンバー。2010年より鹿児島で野外イベント〈グッドネイバース・ジャンボリー〉を主宰。BAGN(BE A GOOD NEIGHBOR) Inc.代表として、東京と鹿児島の2拠点を中心に、全国でオープンスペースの空間プロデュースやイベント、フェスティバルなど、ジャンルや地域を越境しながら数多くのプレイスメイキングを手掛けている。

B.A.G.N.



山田 遊

Yu Yamada

[バイヤー]

東京都出身。南青山のIDÉE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method (メソッド)を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役、武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科客員教授、東京ビジネスデザインアワード審査委員長など。国内外の店づくりを中心に、あらゆるモノにまつわる仕事に携わり、産地や教育機関での講演など多岐に渡って活動を続ける。

method



井手 健一郎

Kenichiro Ide

[建築家]

1978年福岡市生まれ。2000年春に大学卒業後、渡欧。14カ国97都市を巡る。帰国後、2004年に自身の設計スタジオ「リズムデザイン」を設立(2016年に改組し法人化)。2005年から10年間、福岡市を舞台としたデザインイベント「デザイン展」を共同主宰。自分の手で作る仮設構造物から公共的な建築まで、様々な設計デザインを行う。あるものを活かして、ないものを最小限でつくる姿勢は、常に一貫している。

rhythmdesign